



今年、里海コース（富来地域）を走行し、ゴールを目指します。スタート・ゴールは役場富来支所で、全12区間にわたってたすきをつなぎます。当日は、先導車両として石川県交通機動隊の白バイ隊が選手を誘導します。付近の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、円滑な大会運営にご協力をよろしくお願いします。

【駅伝競走大会参加チーム】

- ①加茂・下甘田 ②熊野・上熊野 ③西海・西浦
- ④増穂（前年度優勝） ⑤富来・稗造
- ⑥土田 ⑦志加浦 ⑧堀松（前年度準優勝）
- ⑨高浜 ⑩中甘田 ⑪福浦

選手応援のための車両による伴走は禁止しています。大会運営の支障になりますので、ご理解とご協力をお願いします。



予告

平成29年

1月8日(日)

成人式

◆場所 能登ロイヤルホテル

◆対象 町内在住または出身の人で、今年度20歳をむかえる人

(平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの人)

※志賀町では、新成人が自分たちで成人式の企画・運営する実行委員会を行っています。現在、1回目を開催しました。今後も成人式の詳細を決めていきます。

01 新たな総合計画などの策定と実践

◆ 第2次志賀町総合計画の策定と進行管理

志賀町地域創生本部・ワーキンググループにおいて、総合戦略との整合性を図りながら、総合計画に掲載すべき施策を検討しました。

◆ 志賀町人口ビジョン・総合戦略の策定と実践

町の将来人口を展望した志賀町人口ビジョンと、今後5カ年の目標に対する具体的な施策の実行計画を示した志賀町創生総合戦略を、平成27年10月に策定しました。

◆ 上水道事業経営戦略の策定と経営健全化

経営戦略の基礎データとなる水道事業経営比較分析表を作成したほか、熊野簡易水道の上水道への統合に向け、熊野地内において送水管布設工事を実施しました。

◆ 下水道事業経営戦略の策定と経営健全化

経営戦略の策定に向けた準備を進めるとともに、処理場の長寿命化計画を策定し、改修計画に基づく設備改修を実施しました。

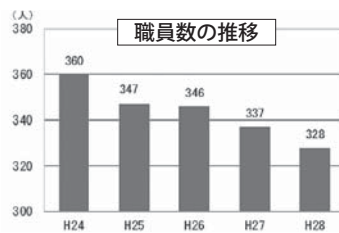
◆ 富来病院改革プランの策定と経営健全化

県が策定する地域医療構想を踏まえた新たな改革プランの策定に向け、検討を進めたほか、看護師等就学資金貸付制度の活用を推奨し、看護師などの確保に努めました。

02 行政体制の適正化と透明性の向上

◆ 行政ニーズに対応した組織体制と定員管理の適正化

行政職の職員の退職に伴う補充は、行政需要に対応できる必要最小限の採用とし、定員適正化を推進しました。



◆ 地方公会計制度の導入

統一的な基準による財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成に向け、公有財産台帳の整備を推進しました。

◆ ICT（情報通信技術）の有効活用

町ホームページをリニューアルし、スマホからも閲覧できるようにしたほか、図書館ホームページも刷新し、図書の検索や貸出予約ができるように改善しました。



第3次行政改革大綱・集中改革プラン実施状況

次世代につなぐ健全な行政経営の確立を目指して、平成27年度から31年度までを推進期間とする第3次行政改革大綱・集中改革プランに基づき、行政改革を進めています。

初年度の平成27年度は、志賀町人口ビジョンおよび志賀町創生総合戦略を策定し、地方創生を実現するための取り組みを推進したほか、観光・生涯学習施設の整理統合や、移住・定住促進対策事業の推進、放課後児童クラブ運営体制の見直しなどに取り組みました。集中改革プランに記載の36の改革項目のうち、進捗のあった主な取り組みについてお知らせします。

03 健全財政確立に向けた取り組みの推進

◆ 健全な財政運営の推進

財政運営の健全性を確保するため、中期財政計画に基づき、計画的な基金の積み立てと町債の繰上償還を実施しました。

基金積立額：14億2,188万円
繰上償還額：2億3,429万円

主な財政指標 (単位：%)

区分	平成26年度	平成27年度
財政力指数 ※1	0.78	0.74
経常収支比率 ※2	93.1	89.8
実質公債費比率 ※3	13.9	12.7

※1 行政運営に必要な経費を、どれだけ自前(町税など)で調達できているかを示す指標

※2 町税などの収入に占める経常的な経費の割合

※3 町税などの収入に占める借入金の返済割合

基金残高(貯金残高)

区分	平成26年度末	平成27年度末
一般会計	95億7,997万円	91億9,661万円
特別会計	10億2,647万円	10億2,638万円
合計	106億644万円	102億2,299万円

町債残高(借入金残高)

区分	平成26年度末	平成27年度末
一般会計	100億5,996万円	97億2,884万円
特別会計	134億2,683万円	132億7,005万円
企業会計	36億8,025万円	34億2,531万円
合計	271億6,704万円	264億2,420万円

◆ 借受財産(土地)の解消

公の施設のあり方の見直し方針に基づき、老朽化した富来勤労者体育センターを解体し、借地を解消しました。

◆ 観光施設の整理統合

老朽化した富来サイクリングターミナルを平成27年度をもって廃止し、シーサイドヴィラ渤海に機能集約する方針を決定しました。



渤海の和室

◆ (株)志賀町振興サービスの経営改革の促進

観光施設の指定管理業務の大半がなくなり、福祉施設などの収益性の低い業務が中心となることから、平成28年3月末をもって、法人を解散しました。

◆ 生涯学習施設の整理統合

空き施設の有効利用と施設の集約化の観点から、熊野工芸工房での草木染、荒木ヶ丘工房での陶芸教室の活動拠点を、旧福浦小学校に移転する方針を決定しました。

04 行政サービスの充実と見直し

◆ 指定管理者制度の効果的な活用

平成27年4月1日から、富来B&G海洋センター・フレアをミズノスポーツサービス(株)が指定管理し、利用サービスの向上と維持管理費の縮減に努めました。

◆ 放課後児童クラブ運営体制の見直し

志賀小学校に併設して志賀放課後児童クラブを建設するとともに、富来小学校の空き教室を活用し富来放課後児童クラブを開設するため、改修しました。



◆ 移住・定住促進対策事業の推進

空き家の実態調査を実施し、空き家等対策計画の策定に向け検討を進めたほか、分譲宅地「みらいとうぶ」32区画を整備し、町外からの移住と若者定住を促進しました。

◆ コンビニ収納導入の検討

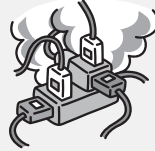
町の公金(税金や保険料、使用料など)の納付方法として、納税者などの利便性、収納率の向上の観点から、コンビニ収納の導入に向けた検討、協議をしました。



電気火災を防ぐチェックポイント

■コンセント・プラグ・コード

- 差し込みプラグとコンセントの隙間にほこりが溜まっていないか確認する。
- 差し込みプラグを抜く際は、コード部分を引っ張らずプラグ部分を持つ。
- 使用していない電気器具の差し込みプラグは、コンセントから抜く。
- コードが家具の下敷きになっていないか確認する。
- コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用しない。
- タコ足配線をしない。



■白熱電灯・蛍光灯

- 照明器具に衣類やタオルなどのものをのせたり、覆い被せたりしない。
- 照明器具を使用した後は、スイッチを必ず切り、安全を確認する。
- 蛍光灯の安定器は、定期的に点検・交換をする。



■電気器具全般

- 使用する前に、電気器具の取扱説明書を確認する。
- 故障した場合は、自分で分解せず、専門の業者に修理を依頼する。
- 電熱器などの電気器具の周囲には、燃えやすいものを置かない。
- 長年使用している電気器具は、異常の有無を点検する。



※電気火災は、火を直接使用していないため、火災に気づきにくい場合があります。

身近に潜む火災の危険!

最近、町内で火災が多発しています。

火災から尊い命、財産を守るためには

火災の危険を取り除くことが重要です。

身近なもので火災になりやすい**電気器具**と**たばこ**。

次の項目をチェックし、十分に注意しましょう。

たばこによる火災を防ぐチェックポイント

たばこ火災の特徴として、はじめは炎を上げずにくすぶり続ける無炎燃焼が起こり、布団や畳を焦がしながら徐々に燃え広がるため、燃えていることに気づきにくい性質があります。気付いた時には、室内に一酸化炭素などの有毒ガスが充満し、避難できずに命を落とす場合があります。たばこによる火災から命を守るために次のことを心掛けましょう。

- 寝たばこは絶対にしない。
- 吸殻を灰皿やごみ箱にためないようにする。
- 灰皿には水を入れておく。
- 吸殻を捨てる時は水をかけて消えたかどうか確認する。





**大津波警報！
高い所に
避難！**



**大きな揺れを
感じたら
机の下に隠れ
身を守ることを
最優先に！**

地震と津波発生に伴う防災訓練（富来小学校）



放射線防護対策を講じている原子力災害対策施設で、原子力防災について説明を聞く児童

この後、原子力発電所の事故を想定し、平成28年3月に完成した富来小学校に併設する原子力災害対策施設に避難しました。この施設は、原子力発電所の災害時に、早期の避難が困難な要配慮者が、一定期間その場に留まることを想定しています。

9

月7日、防災週間に合わせ、富来小学校で地震と津波を想定した避難訓練を実施しました。震度7の地震が起きた後、大津波警報が発表された後、大津波警報が発表され、全児童188人が机の下に入り、地震が収まるのを待つことから、校舎3階まで避難しました。



現在、大雨により土砂災害発生の危険が高まっています。災害に備えて避難の準備をしてください。



一時避難場所へ移動！
(稗造研修センター)

9

月11日、稗造地区で、大雨による土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。訓練には約40人が参加。町の避難準備情報を受け、参加者は稗造研修センターに一時避難しました。次に避難勧告・避難指示が発令され、参加者はバスや家用車で稗造スポーツセンターへ避難しました。

土砂災害防災訓練（稗造地区）



現在、大雨により土砂災害避難勧告が発令されました。最寄の避難所へ避難してください。

指定避難場所へ移動！
(稗造スポーツセンター)



<p>家の中の安全対策 (家具の固定、再配置)</p>	<p>万が一倒れても、身の安全と避難路の確保ができるようにしておきましょう。</p>
<p>家族との連絡方法、 連絡先の確認</p>	<p>災害時には、家族が別々の場所にいる可能性もあるので、あらかじめ連絡方法を決めておきましょう。 (例)「171 災害用伝言ダイヤル」の利用</p>
<p>避難場所・ 経路の確認</p>	<p>避難所や広域避難場所への経路を確認しておきましょう。</p>
<p>非常持出品、家庭内 での備蓄品の確認</p>	<p>食品や飲料の中身と賞味期限を定期的にチェックし、ラジオ、防災グッズなどの用意もしておきましょう。</p>
<p>災害時の家庭内 での役割確認</p>	<p>非常持出品を運ぶ人、ガス栓、ブレーカーの措置を行う人などの役割を家族内で決めておきましょう。</p>

災害はいつ起こるかわかりません。災害が発生しても落ち着いた行動が取れるように、災害時の心がまえを日頃から持ち、備蓄品などを準備しておきましょう。

災害に備えて